

2015年8月26日

「リフォーム用ソーラーパネル架台」を共同開発 設置工事費を抑制し、将来の屋上防水リフォームにも配慮

（株）長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：辻 範明）と（株）長谷工リフォーム（本社：東京都港区、社長：鹿倉 克幸）および金物メーカーの港製器工業株（本社：大阪府高槻市、社長：岡室 昇志）は、この度、既築マンションの屋上に太陽光発電設備を設置する際の「リフォーム用ソーラーパネル架台」を共同開発しました。

昨今、既築の分譲マンションや賃貸マンションにおいては、環境への配慮や売電による修繕費の軽減を目的に、太陽光発電の導入検討が進められています。それに合わせて当社グループでは、ソーラーパネルの設置工事費を抑え、将来の屋上防水リフォームにも配慮したソーラーパネル架台を開発しました。

今回開発した「リフォーム用ソーラーパネル架台」は、ソーラーパネルを支える“防水更新対応フレーム”（特許出願中）と足元の“ソーラー用鋳鋼製基礎”（特許出願中）で構成されており、その特長は

- ①既存マンション屋上の防水層を剥がさずに簡易な施工で設置が可能
- ②施工性が良く、設置工事費を抑制することが可能（市販のステンレス製基礎を使用した場合との比較。当社調べ）
- ③ソーラーパネルを持ち上げることで将来の防水リフォーム時の作業スペースを確保可能

などが挙げられます。

今後は、（株）長谷工リフォームがマンションの管理組合様に、（株）長谷工ライブネット（本社：東京都港区、社長：木下 寛）が賃貸マンションのオーナー様に導入提案を行い、工事受注の拡大を図ってまいります。



[「リフォーム用ソーラーパネル架台」（左）、パネルを持ち上げて作業スペースを確保（右）]